

■ 平成24年度 離島地区町政懇談会 意見交換の主な内容

意見・質問・要望・提案の要旨		町からの回答・意見の要旨 (※後日の回答及び対応を追記しています)
8月21日 天売地区町政懇談会		21名参加 (天売研修センター)
1	災害のとき、小中学校が避難場所になっているが、電気や水が止まったら水洗トイレが使えないのでは？対策を考えてほしい。	貯水タンクに溜まっている分は流れるが、電気が止まると学校の浄化槽設備が動けないのでトイレは使えない。仮設トイレやポータブルトイレなどの方法もあるが、今後考えていきたい。
2	大型ゴミでの金額の根拠は？また、出す際、支所に連絡して、券を買って、名前を書いて出す。と手続きがめんどうなので、もう少し簡単にできないか。安くて簡単なほうが不法投棄などにもならない。	平成14年度の料金設定。先進地を参考に対処費用や量で決めている。手続きは市街地と同じ。役所への連絡は無くせない。一回に出す個数が決まっているので、出されるものを事前に把握し、業者に連絡して回っている。名前を書くのは、さまざまなトラブル防止のため。出した人が後々わかるようにしている確認なので、ご協力をいただきたい。
3	墓地の木が大きくなりすぎているので、切ってほしい。	枝払いくらいならできるが、あまりに大きく、専門業者でないと対応できないので、次年度の予算にむけて対応を考えたい。
4	フェリーの停泊時間、焼尻の冬期は、25分と長い。昨年も言ったが、実質10分くらいでいいのでは？焼尻をはやく出ると、5分でも10分でも早く天売に着く。時間が早く済むのは、その分エコにもなる。	昨年度課題となった後、沿海フェリーとも話をした。再度詳しいデータをとり検討することになっている。結果、ダイヤを組みなおすことが可能ならば、組みなおすことになるので、もう少し待つてほしい。
5	高速船の料金がなくて島民は利用できない。島民はフェリーと高速船を同じ金額でお願いしたい。	来年度新しい高速船が入るのを機に検討したい。離島振興法の改定で、離島への取り組みがしやすくなる可能性が大きい。今、離島のあり方は大きく注目されている。島民が住みやすい島にいろいろな制度から考えなくてはならない。運賃のことのみならず、島独自の振興計画の中で目標をたてていきたい。
6	小型風力発電機が設置されるというが、具体的な設置場所と大きさは？電磁波などで、テレビなどへの影響は大丈夫か？	支所の真裏。高さ4メートルくらい、支所の屋根より少し低いくらい。プロペラの直径1メートル80くらいの小型のものです。電磁波は大丈夫と思うが、今回は実証試験ということで、問題があれば検討されることになる。今回の試験の結果を踏まえて次年度に繋げたい。
	太陽パネルは使わないのか	今年度は使わない
	海鳥には大丈夫か	海鳥の飛ぶ高さとは違うので大丈夫。今のところは小型の家庭用のものを考えている。
7	道立羽幌病院の受診について。昨年度も意見を出したが、その後道立病院でも便宜ははかってくれてはいるが、日帰り可能ということで手続きしたのに日帰りできないことがあった。翌日また出なおしたら、専門医がいなくてまた来てくださいとなった。島の人を優先してみてもらえないか？夏場ならまだいいが、冬は宿泊も伴うし大変です。	昨年度の町政懇談会后、病院へお話し電話で連絡すれば、極力融通してくれるようになっているはずだが、出張医は、その日に帰るのでどうしても診療時間が限られる。市街地区の人でも相当待たされることもある状況です。ある程度余裕をみて時間をとっても、その人によっては診療にかかる時間も違うので時間どおりに診療するのは大変難しい。なんとか、今のやりかたの中で工夫し、我慢いただくようお願いしたい。
8月22日 焼尻地区町政懇談会		28名参加 (焼尻研修センター)
8	今、道で津波避難計画の見直ししていると言うが、津波の想定が変わったらまた変えるのか？いつくらいに変わる？道東はもう新しいの示されている。	北海道では日本海側の津波の過去のデータがないので、今調べているところ。当初の予定では今年度中に津波浸水予測図の改定作業ができあがると聞いているが、その調査の進み具合による。なるべくはやく示してもらえよう伝えていきたい。

9	春に新聞などで報道があったが、15メートル規模の巨大津波がきた形跡があると発表され、不安に思っているが、6メートルの 想定は低すぎないか 。	専門家の中で示されているのが今現在、最大6メートルということ。が、それが絶対ということではない。道の浸水予測図に基づいてつくるしかない状況なので、道になるべくはやく改訂作業いただいて合わせて、ハザードマップを改訂し、津波避難計画も改訂していきたい。今のところはこういう形でしかお示しできないことをご理解いただきたい。
10	先日の 緊急地震速報 、携帯やテレビと同時に、 IP電話 にくるのかと耳をすましたが、ぜんぜんならなかった。そのへん 連携 とれないのか	まず気象庁からNHK、民放に連絡が行き、それから携帯電話会社に連絡がいく。IP電話には緊急地震速報そのものは入らないが、注意報や警報が連動して発令されるようであれば、各家庭の端末にも情報がでます。今回ののは速報だけだったので出なかった。
	時間差があるのか。	緊急地震速報自体が流せるのかどうか、持ち帰って検討したい。
		※懇談会后、NTTと調整。今後は震度4以上の地震が想定される場合は、緊急地震速報と連動させ、携帯電話と同じくIP電話でもお知らせします。
11	中学校の剣道の授業 。竹刀と防具の購入とあったが、木刀でいいのでは？木刀で充分武道の礼儀や礼法は学べる。少子化なので、購入しても余っていくし、人の使った汗臭いものを今の子どもたち使うか？ 島の子ども、あまりに少なくなって驚いている。団体競技の試合ができない。本当は団体戦をやらない人間形成できない。天売と一緒にやったり、男女一緒にやったり、もう少し弾力的にできないか。	各学校の意向を集約したうえで、羽幌町では剣道を取り入れた。仮に生徒が少なくなった場合は、防具を他の学校へまわすことで、学校と充分調整して配置している。通常剣道の道具ということで竹刀を購入した。礼に始まり例に終わる武道の精神を教えることになっているので競技的なことは求めている。安全面にも考慮し、面にはクリアな眼鏡のようなものをほどこした上で、衛生面にも充分配慮した中でこれから進めるよう考えています。
12	焼尻のオンコの荘 を守るよう、木道やチップを敷くなど、保護する策をほどこしてほしい。唯一の観光資源なのだから オンコの大木 を守ってほしい。	下刈りなども含め、今後どういうふうにしなくてはならないのか、具体的に考えていかななくてはならないと思っています。
13	離島振興法、安堵している。実際、どの範囲まで適応になるかわからないが、 船の運賃、水産物を羽幌までも もっていく分の助成にあててほしい。せめて本土と格差がないようにしてほしい。	総合的に離島を守るためのものだが、細かなものはまだできていない。新年度までに整理されることになる。
14	めん羊まつり 、ここ数年の衰退ぶりが残念。観光協会の支部だけでなく運営は、もっと全島民に開かれるべきではないか。 また、IターンでもUターンでもいいから 新規就業者にむけた使い勝手のいい助成制度 があればと思う。	町としては、観光協会焼尻支部の事業ということで補助している。あらためて支部と協議しながら来年度以降に活かしていきたい。新規就労については一人50万では資材を買う頭金にもならないかもしれないが、他の市町村の状況を確認しながら助成制度を検討していきたい。
15	焼尻小中学校の給食センターの継続をお願いしたい。	焼尻小中学校の児童生徒が減っていくということで、先日関係者、保護者集まっていたが、その中でも要望が出ていたが、考えていきたい。